

腎臓内科

a. 体制

I. 診療体制

●主任部長：塚本達雄

学歴：昭和 60 年 神戸大学医学部卒

資格等：医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医・評議員、日本透析医学会専門医・指導医、日本急性血液浄化学会指導者・理事、日本アフエレンス学会認定血漿交換療法専門医・評議員、日本アフエレンス学会関西地方会理事、京都大学医学部臨床教授

●副部長：遠藤知美

学歴：平成 13 年 滋賀医科大学医学部卒

資格等：医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医・評議員、日本透析医学会専門医・指導医

●副部長：半田貴也

学歴：平成 24 年 京都大学医学部卒

資格等：医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本腎臓学会専門医・指導医・評議員、日本透析医学会専門医

●医員：東良亮

学歴：平成 29 年 京都大学医学部卒

●後期研修医：大植薫

学歴：平成 31 年 京都大学医学部卒

●後期研修医：宮内美帆

学歴：平成 31 年 大阪医科薬科大学医学部卒

●後期研修医：丹羽篤人

学歴：平成 31 年 関西医科大学医学部卒

●後期研修医：福田結以

学歴：令和 2 年 藤田医科大学医学部卒

●後期研修医：花房藍

学歴：令和 2 年 島根大学医学部卒

●後期研修医：鹿野友美夏

学歴：令和 3 年 京都大学医学部卒

●応援医師：武曾恵理

学歴：昭和 51 年 京都府立医科大学医学部卒

資格等：医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本内科学会近畿支部評議員、日本腎臓学会専門医・指導医・名誉会員、日本透析医学会専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本アフエレンス学会関西地方会評議員、財団法人大阪腎臓バンク評議員、京都華頂大学現代家政学部食物栄養学科教授

●応援医師：平木秀輔

学歴：平成 24 年 京都大学医学部卒

資格等：日本内科学会認定医、日本腎臓学会専門医、社会医学系専門医協会社会医学系専門医

●応援医師：森慶太

平成 18 年 信州大学医学部卒

○看護師：看護部報告参照

○臨床工学技士（臨床工学部血液浄化センター担当）：辻宣樹、祖開裕子、藤井雅基、岡本英将、横川慎、椎木博輝、高廣望、深江望、近藤孝則、繁田一穂

○スペシャル医療クラーク：酒井友子

○血液浄化センター事務：中村木綿子、前野憲子

II. 研究人員

客員研究員：鳥越和雄（第二六島クリニック）、平井大輔（京都医療センター）、有安由紀（京都大学）、櫻木実（京都大学）、横出正隆（京都大学）、垣田浩子（西神戸医療センター）、武曾恵理（京都華頂大学）

b. 診療実績

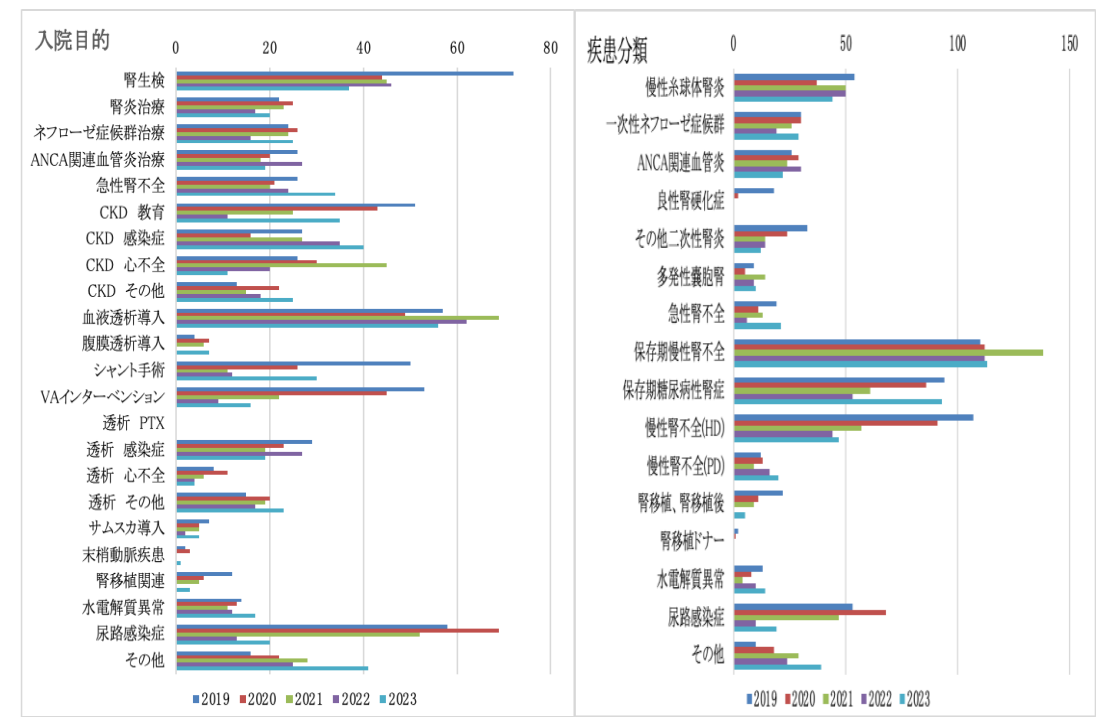
I. 腎臓内科

1. 外来診療：延患者数 14,065 名、初診患者総数 862 名、紹介患者数 262 名、新患率 6.1%
1 日平均外来患者数 57.9 名

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
4診		丹羽	平木			大植		宮内	東	東
5診	塚本	塚本	森	森	遠藤	遠藤	塚本	塚本	遠藤	

2. 慢性腎臓病地域連携：2009 年 1 月から北野～かかりつけ医ネットワークで構築された地域連携クリニカルパスを使用し、3～6 ヶ月毎に連携診療を実施
パスでの受診回数：1312 回、患者実数：523 名、連携医療機関数 385 施設

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
開始患者数	40	77	58	38	78	119	51	49	71	79	59



3. 入院診療：新入院患者数 452 名、延入院患者数 6,595 名、平均在院日数 13.5 日

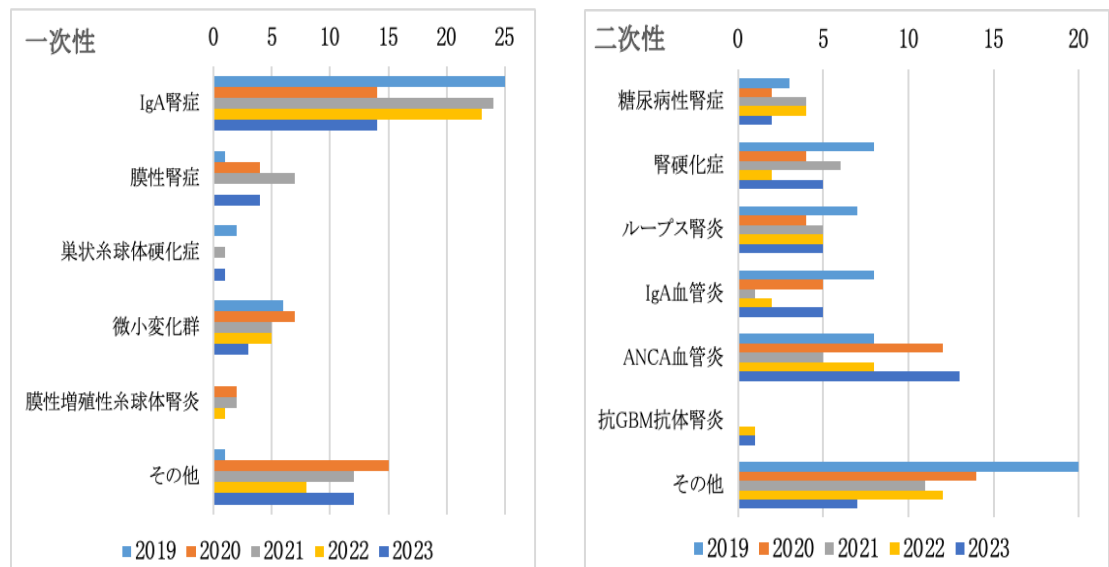
① 入院目的

② 疾患分類

③ クリニカルパス

13 種類のクリニカルパスを作成・使用

腎生検	シャント手術	リツキシマブ開始・維持
保存期腎不全教育入院	シャント PTA	トルバプタン導入



血液透析導入	ステロイド・パルス	腹膜透析カテーテル留置
腎盂腎炎	シクロフォスファミド・パルス	腹膜透析 PET
CAPD 腹膜炎		

④ 腎生検組織分類

2023 年 4 月～2024 年 3 月；腎生検 72 例（一次性 34 例、二次性 38 例）

⑤ 慢性腎不全教育入院

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
慢性腎不全教育入院	66	51	43	25	11	35

II. 血液浄化センター

1. ベッド数：同時透析数 20 名（月、水、金；1 クール、火、木、土；1 クール）

2. 対象患者：外来透析患者数約 10 名、入院透析患者数約 25 名

3. 透析導入・看護師外来（腎臓病指導・療法選択/糖尿病透析予防指導）

	2019	2020	2021	2022	2023
透析導入総数	57	45	77	74	69
腹膜透析	3	3	4	2	5
看護師外来	350	346/55	392/45	374/56	319/30

4. 体外循環治療の内訳

	HD (2020 年以前 CHDF 含 む)	CHDF	血漿 交換	血液吸着			PBS-CH	CART
				LDL-A	PMx	レオカ ーナ		
2019	10250	－	75	9	0	－	23	31
2020	9100	－	89	5	0	－	34	32

2021	7333	70	96	5	1	－	25	59
2022	4505	35	58	0	0	3	19	11
2023	4661	46	78	9	0	103	42	31

5. 出張血液浄化：ICU122 件、HCU58 件、SCU3 件、10 東 7 件（コロナ透析 6 件）、11 東 31 件（コロナ透析 31 件）

6. 腎移植（2020 年度以降は紹介患者数）

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
自院で移植	2	2	0	1	0	0
他院で移植（紹介数）	0	1	0	2	5	*

7. 外科手術：腎臓内科に併診のもとで周術期透析を施行。

	2019	2020	2021	2022	2023
副甲状腺					
全摘術	0	1	1	0	2
PEIT	0	0	0	0	0
透析アミロイドーシス					
手根管症候群	5	7	2	3	1
バネ指	0	0	0	0	0
その他の骨関節	0	8	12	10	5
循環器系					
弁置換・CABG・大動脈瘤など	8	8	9	6	12
PTCA・ステント・PCI 等	18	21	28	19	18
消化器系					
外科手術	12	1	2	4	8
内視鏡手術	22	14	19	16	30
インターベンション	2	13	1	0	0
眼科系	15	11	9	5	11
脳神経外科系	5	5	2	5	4
閉塞性動脈硬化症					
外科手術	3	2	6	13	11
インターベンション	21	28	20	10	18
その他の手術	5	14	18	4	15
総数	116	133	129	95	135

8. バスキュラーアクセスの作製・管理

	2019	2020	2021	2022	2023
自己血管吻合	60 15（心外）	43 7（心外）	21 50（心外） 9（形外）	7 45（心外） 8（形外）	38 11（心外） 3（形外）
人工血管（心外手術）	3	2	2	2	1
経皮的血管内治療	77	58	41	23	46
長期留置カテーテルなど	4	4	4	4	2

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【学会】

＜国内学会＞

- 1 永田徹、中川権史、羽田敦子、鶴見文俊、宇佐美亜由子、金森良介、藤尾光、高柳俊亮、遠藤知美、塚本達雄、秦大資：高血圧緊急症・ネフローゼ症候群を呈し、末期腎不全から腹膜透析に至った NFKB2 異常症の 1 例(会議録)：第 126 回小児科学会学術集会、2023 年 4 月 14 日-16 日（東京）
- 2 司馬熙、遠藤知美：新型コロナウイルス感染症(COVID-19)後に肺出血で再燃した、メボリズマブ投与中の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の一例：第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会、2023 年 4 月 24 日-26 日（福岡）
- 3 塚本達雄：急性血液浄化療法の要点：第 39 回日本医工学治療学会学術大会、2023 年 5 月 12 日-13 日（埼玉）
- 4 遠藤知美：ANCA 関連血管炎 up to date (シンポジウム 20)：第 66 回日本腎臓学会学術総会、2023 年 6 月 9 日-11 日（横浜）
- 5 東良亮、遠藤知美、高柳俊亮、森慶太、武曾恵理、塚本達雄：ANCA 関連血管炎の間質性肺炎合併有無による臨床像の相違に関する検討：第 66 回日本腎臓学会学術総会、2023 年 6 月 9 日-11 日（横浜）
- 6 有安由紀、鳥越和雄、安田隆、安田宜成、塚本達雄、武曾恵理：IgA 腎症に対する肥満の影響について大規模コホートにおける腎機能と性によるサブ解析：第 66 回日本腎臓学会学術総会、2023 年 6 月 9 日-11 日（横浜）
- 7 井上唯衣、石井輝、西尾治臣、生島昭恵、石村拓也、杉岡清香、半田貴也、山田博之、柳田素子、横井秀基：全身性 GC-A ノックアウトマウスでは、高蛋白食負荷下にストレプトゾトシン誘導糖尿病性腎臓病が増悪する：第 66 回日本腎臓学会学術総会、2023 年 6 月 9 日-11 日（横浜）
- 8 秦浩一郎、坂井薫、塚本達雄、山敷宣代、上田佳秀、穴澤貴行、伊藤孝司、福光剣、八木真太郎、柳田素子、妹尾浩、上本伸二：急性肝不全の病態と治療～基礎・臨床の観点から～ 急性肝不全治療における初期治療アルゴリズムの変遷と成績 高容量血液浄化法の役割と今後の課題：第 59 回日本肝臓学会総会、2023 年 6 月 15 日-16 日（奈良）
- 9 遠藤知美、森慶太、塚本達雄：当院における保存的腎臓療法(CKM)に関する取り組みとその実践 (シンポジウム 4)：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、2023 年 6 月 16 日-18 日（神戸）
- 10 谷口美咲、遠藤知美、塚本達雄、濱崎暁洋、前谷俊樹：原発性二次性副甲状腺機能亢進症を合併した腹膜透析患者に副甲状腺摘出術を行った一例：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、2023 年 6 月 16 日-18 日（神戸）
- 11 渡邊友香、米本智美、池田嘉宏、塚本達雄：亜鉛補充療法により銅欠乏性貧血を併発した維持血液透析患者の 1 例：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、2023 年 6 月 16 日-18 日（神戸）
- 12 三島奈都美、司馬熙、東良亮、高柳俊亮、森慶太、遠藤知美、塚本達雄：血管炎による末期腎不全で血液透析導入となった患者にアバコパンを使用した 2 例：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、2023 年 6 月 16 日-18 日（神戸）
- 13 ウェルズ健、姜伶奈、石村拓也、櫻木実、森田元、鈴木洋行、武曾恵理、塚本達雄：急性間欠性ポルフィリン症(AIP)のため透析導入となった 1 例：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、2023 年 6 月 16 日-18 日（神戸）
- 14 塚本達雄、森慶太、東良亮、高柳俊亮、祖開裕子、辻宣樹、遠藤知美、丸毛聡：当院における COVID-19 透析例の報告：第 68 回日本透析医学会学術集会・総会、2023 年 6 月 16 日-18 日（神戸）
- 15 渡邊元貴、森義治、岩木亮介、森田元、八隅秀二郎、塚本 達雄：ニボルマブにより一時的に血液透析を要する急性腎障害をきたしステロイド治療を行った 1 例：第 68

回日本透析医学会学術集会・総会、2023年6月16日-18日（神戸）

- 1 6 鹿野友美夏、山上優奈、吉川義顕、森慶太、遠藤知美、塚本達雄：血漿交換療法が著効した維持透析患者の水疱性類天疱瘡の一例：第68回日本透析医学会学術集会・総会、2023年6月16日-18日（神戸）
- 1 7 遠藤知美、森慶太、塚本達雄：高齢化社会における腎代替療法を再考する 当院における保存的腎臓療法(CKM)に関する取り組みとその実践：第68回日本透析医学会学術集会・総会、2023年6月16日-18日（神戸）
- 1 8 丹羽篤人、鹿野友美夏、福田結以、大植薫、宮内美帆、東良亮、半田貴也、原諒輔、猪子森明、祖開祐子、辻宜樹、塚本達雄：心原性ショック患者への経皮的心肺補助装置使用中に生じた急性肝不全に対して血漿交換を施行した一例：第34回日本急性血液浄化学会学術大会、2023年9月30日-10月1日（名古屋）
- 1 9 山崎瑞歩、古宮俊幸、佐藤涼、倉橋聡司、竹岡純、平島尚子、戸田尚宏、武曾惠理：肝硬変を合併した難治性の透析液リークに対しフィブリノゲン加第13因子製剤注入およびカテーテル周囲組織結紮が有効であった腹膜透析患者の一例：第29回日本腹膜透析医学会、2023年9月30日-10月1日（東京）
- 2 0 福田結以、遠藤知美、三島奈都美、東良亮、半田貴也、武曾惠理、塚本達雄：IFでfull-houseパターンを呈したIgM κ 型原発性マクログロブリン血症の一例：第53回日本腎臓学会西部学術大会、2023年10月7-8日（岡山）
- 2 1 鹿野友美夏、東良亮、司馬熙、遠藤知美、塚本達雄：IgM陽性形質細胞関連尿細管間質性腎炎の1例：第53回日本腎臓学会西部学術大会、2023年10月7-8日（岡山）
- 2 2 池添徳晃、戸田尚宏、菅枝茜、佐藤涼、藤田京花、竹岡純、武曾惠理、藤田昌昭、石井輝：IgG4関連疾患の経過中に膜性腎症を合併した一例：第53回日本腎臓学会西部学術大会、2023年10月7-8日（岡山）
- 2 3 竹岡純、佐藤涼、倉橋聡司、平島尚子、戸田尚宏、武曾惠理、古宮俊幸：IgA腎症患者に対する経口ステロイド先行扁桃摘出治療プロトコルの検討：第53回日本腎臓学会西部学術大会、2023年10月7-8日（岡山）
- 2 4 遠藤知美：腎病理から考えるアバコパンの可能性（モーニングセミナー）：第53回日本腎臓学会西部学術大会、2023年10月7-8日（岡山）
- 2 5 半田貴也、鹿野友美夏、福田結以、大植薫、丹羽篤人、宮内美帆、東良亮、遠藤知美、塚本達雄：心機能・血中フィブリノーゲン値に応じたレオカーナ施行条件の検討：第44回日本アフェレシス学会学術集会：2023年10月20日-22日（盛岡）
- 2 6 宮内美帆、鹿野友美夏、福田結以、大植薫、丹羽篤人、東良亮、半田貴也、遠藤知美、武曾惠理、塚本達雄：抗糸球体基底膜抗体腎炎で血漿交換療法を実施した7症例の検討：第44回日本アフェレシス学会学術集会：2023年10月20日-22日（盛岡）
- 2 7 丹賀康太郎、大植薫、木下慶一郎、中島俊樹、北島尚昌、塚本達雄：急速進行性間質性肺炎を伴う抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎に血漿交換を含む集学的治療を行った一例：第242回日本内科学会近畿地方会、2023年12月9日（大阪）
- 2 8 木村 茉樹、大植薫、遠藤知美、野津寛大、塚本達雄：先天性ミトコンドリア異常症により巣状分節性糸球体硬化症をきたし腎移植を施行した一例：第242回日本内科学会近畿地方会、2023年12月9日（大阪）
- 2 9 丹羽篤人、半田貴也、鹿野友美夏、花房藍、福田結以、大植薫、宮内美帆、東良亮、遠藤知美、祖開祐子、辻宜樹、塚本達雄：単純血漿交換療法(PEx)を含む集学的治療が奏功した顕微鏡的多発血管炎(MPA)の一例：第42回日本アフェレシス学会関西地方会、2024年2月10日（大阪）
- 3 0 望月俊吾 福田結以 丹羽篤人 遠藤知美 塚本達雄：腎・肺病変を伴う重症顕微鏡的多発血管炎に対し、血漿交換・Rituximab・Avacopan併用により低用量ステロイドで寛解導入し得た超高齢者の一例：第243回日本内科学会近畿地方会、2024年3月16日（大阪）

<国際学会>

- 1 Yuki Ariyasu, Kazuo Torikoshi, Tatsuo Tsukamoto, Takashi Yasuda, Yoshinari Yasuda, Eri Muso : Impact of obesity on prognosis of IgA nephropathy separately analyzed by renal function and sex」第17回国際IgA腎症シンポジウム 2023年9月28日～30日(東京)

【研究会・講演会】

- 1 塚本達雄、三島奈都美、渡邊友香、谷口美咲、東良亮、高柳俊亮、森慶太、遠藤知美、辻宣樹、祖開裕子、平木秀輔、丸毛 聡：当院におけるCOVID-19透析例の報告(第3報)：第97回大阪透析研究会、2023年9月11日(大阪)
- 2 塚本達雄：腎性貧血の今後の展望：CKD total support セミナー、2023年2月15日(大阪)
- 3 塚本達雄：慢性腎臓病(CKD)の地域連携パスと腎性貧血治療に関して、第7回DKD診療を考える会、2023年3月2日(ハイブリッド)
- 4 遠藤知美：ANCA関連血管炎治療の最前線～タブネオスの可能性を探る～：AAV specialist seminar、2023年5月19日(ハイブリッド)
- 5 塚本達雄：腎性貧血：CKD連携WEBセミナー、2023年5月30日(ハイブリッド)
- 6 塚本達雄：腎性貧血治療と鉄代謝について：Dialysis UpToDate、2023年6月22日(大阪)
- 7 塚本達雄：DKD治療の新しい展開と地域連携診療：但馬CKD-WEBセミナー、2023年6月29日(ハイブリッド)
- 8 塚本達雄：CKD地域連携の取り組み～地域における透析予防に向けて～：CKD連携意見交換会、2023年7月11日(大阪)
- 9 武曾恵理：ゆたかな腎臓病医療のために多様な力の結集をめざす：第3回熊本県女性腎臓病医の会 2023年9月7日(熊本)
- 10 塚本達雄：当院のCKD連携診療実態と合併症治療に関して：地域連携ネットワーク講演会、2023年9月14日(大阪)
- 11 武曾恵理：オープングリマークス 中四国エリア難治性ネフローゼ症候群へのLDLAを考える会 2023年9月20日(WEB)
- 12 塚本達雄：DKD連携診療について、第8回DKD診療を考える会、2023年9月20日(ハイブリッド)
- 13 福田結以、遠藤知美、鹿野友美夏、三島奈都美、武曾恵理、塚本達雄：半月体様管外病変を伴った悪性高血圧の一例：第28回日本血管病理研究会、2023年10月21日-22日(仙台)
- 14 遠藤知美：ANCA関連血管炎治療の最新～タブネオスをどう使う？～：第2回女性腎臓内科医の会(神奈川県)：2023年11月30日(ハイブリッド)
- 15 遠藤知美：AAVにおける腎生検・腎病理とタブネオスの使用経験：AAV Clinical Seminar in Wakayama、2024年1月18日
- 16 大植薫、遠藤知美、森田元、野津寛大、武曾恵理、塚本達雄：ミトコンドリア関連遺伝子の異常により巣状分節性糸球体硬化症をきたし腎移植を施行した一例：第10回京都腎疾患フォーラム、2024年1月20日(京都)
- 17 遠藤知美：ANCA関連血管炎治療～ガイドライン2023改訂の変遷とタブネオスの可能性～：京都腎臓医会難病WGオンラインセミナー、2024年2月8日(京都)
- 18 遠藤知美：ANCA関連腎炎治療の最新～ステロイドの最小限使用を目指して～：AAV Nephrologists meeting、2024年2月14日(ハイブリッド)
- 19 半田貴也：当院におけるレオカーナ合併症の検討：第36回腎と脂質研究会、2024年2月17日(京都)
- 20 山田博之、塚本達雄：難治性ネフローゼ症候群に対するLDL-アフェレーシスの効果に関するシステムティックレビュー：第36回腎と脂質研究会、2024年2月17日(京

都)

- 2 1 塚本達雄：CKD 診療ガイドライン 2023 を見据えた連携診療のあり方：あさひ連携の会、2024 年 2 月 21 日（大阪）
- 2 2 武曾恵理：腎臓病医療における女性腎臓病医の役割について 第 30 回中部女性腎臓病の会（CSWN）特別講演 2024 年 3 月 3 日（名古屋）
- 2 3 塚本達雄：ネフローゼ症候群：東大阪市保健所 難病講演会、2024 年 3 月 6 日（大阪）
- 2 4 塚本達雄：DKD 連携診療・腎性貧血治療に関して、第 9 回 DKD 診療を考える会、2024 年 3 月 14 日（ハイブリッド）
- 2 5 遠藤知美：透析患者診療における最近の話題～腎性貧血や血管炎治療など～：CKD Web セミナー 2024 年 3 月 21 日（三宮）

【論文】

＜和文論文＞

- 1 武曾恵理【さまざまな領域で活躍するアフェレシス】腎疾患領域におけるアフェレシス 難治性ネフローゼ症候群に対する LDL アフェレシス腎臓内科 18 巻 2 号 Page139-149(2023. 08)
- 2 遠藤知美 急速進行性糸球体腎炎 RPGN(血管炎) へのアフェレシス療法 日本アフェレシス学会雑誌 42 巻 2 号 Page116-122(2023. 08)
- 3 武曾恵理 日本女医会吉岡彌生賞受賞のご報告：京都府立医科大学学友会会報・青蓮会報 第 196 号 Page108-112(2023. 09)
- 4 塚本達雄 腎性副甲状腺機能亢進症について 北野病院紀要 2022 年度 Page33(2023. 10)
- 5 坂井薫、秦浩一郎、塚本達雄、山田博之、松原雄、岡島英明、波多野悦朗、柳田 素子 昏睡型急性肝不全治療における大量血液浄化療法の役割と注意点 日本急性血液浄化学会雑誌 14 巻 2 号 Page106-111(2023. 12)
- 6 半田貴也、横井秀基 【動脈硬化性疾患・脂質異常症 Update】動脈硬化性疾患のリスク管理 慢性腎臓病 診断と治療 9 2023 Vol. 111 No. 9 診断と治療 (0370-999X) 111 巻 9 号 Page1181-1187(2023. 09)
- 7 半田貴也、横井秀基 【保存期慢性腎臓病と透析期のステージに応じた診療のポイント】[Chapter 3]保存期 CKD 患者・透析患者への薬剤の使い方 脂質異常症の治療目標値と推奨薬剤 内科(0022-1961)132 巻 1 号 Page57-61(2023. 07)
- 8 半田貴也、山田博之 圧挫症候群と熱中症における腎障害；特集 パンデミック・大災害における腎臓病診療 腎臓内科(2435-1903)17 巻 3 号 Page278-285(2023. 03)

＜英文論文＞

- 1 Ishizu A, Kawakami T, Kanno H, Takahashi K, Miyazaki T, Ikeda E, Oharaseki T, Mod Rheumatol. Expert perspectives on pathological findings in vasculitis.2023 Jan 3;33(1):1-11.
- 2 Hara A, Wada T, Muso E, Maruyama S, Kato S, Furuichi K, Yoshimura K, Toyama T, Sakai N, Suzuki H, Tsukamoto T, Miyazaki M, Sato E, Abe M, Shibagaki Y, Narita I, Goto S, Sakamaki Y, Yokoyama H, Mori N, Tanaka S, Yuzawa Y, Hasegawa M, Matsubara T, Wada J, Tanabe K, Masutani K, Abe Y, Tsuruya K, Fujimoto S, Iwatsubo S, Tsuda A, Suzuki H, Kasuno K, Terada Y, Nakata T, Iino N, Sofue T, Miyata H, Nakano T, Ohtake T, Kobayashi S; LICENSE study group.Effect of Low-Density Lipoprotein Apheresis on Quality of Life in Patients with Diabetes, Proteinuria, and Hypercholesterolemia.Blood Purif. 2023;52(4):373-381.
- 3 Shimizu S, Niihata K, Nishiwaki H, Shibagaki Y, Yamamoto R, Nitta K,

- Tsukamoto T, Uchida S, Takeda A, Okada H, Narita I, Isaka Y, Kurita N; Japan Nephrotic Syndrome Cohort Study Group. Initiation of renin-angiotensin system inhibitors and first complete remission in patients with primary nephrotic syndrome: a nationwide cohort study. *Clin Exp Nephrol*. 2023 May;27(5):480-489.
- 4 Shiba H, Endo T, Fujikawa H, Tsukamoto T. Giant Rectus Sheath Hematoma: Pseudobladder Sign. *JMA J*. 2023 Jul 14;6(3):348-349.
 - 5 Arai H, Yamamoto S, Matsubara T, Miyake T, Tochio A, Mii A, Shimizu A, Minamiguchi S, Muso E, Yanagita M. Focal Segmental Sclerosis Associated with the Novel Multi-tyrosine Kinase Inhibitor Ponatinib. *Intern Med*. 2023 Sep 15;62(18):2693-2698.
 - 6 Oshima S, Sakuragi M, Morita H, Oka Y, Tabu H, Marumo S, Suzuki H, Tsukamoto T. Successful treatment of tuberculous meningitis in an Indian female under hemodialysis therapy. *CEN Case Rep*. 2023 Nov;12(4):341-346.
 - 7 Nagasaka K, Amano K, Dobashi H, Nagafuchi H, Sada KE, Komagata Y, Yamamura M, Kato M, Endo T, Nakaya I, Takeuchi T, Murakawa Y, Sugihara T, Saito M, Hayashi T, Furuta S, Tamura N, Karasawa K, Banno S, Endo S, Majima M, Kaname S, Arimura Y, Harigai M. Nation-wide cohort study of remission induction therapy using rituximab in Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: Effectiveness and safety in the first 6 months. *Mod Rheumatol*. 2023 Nov 1;33(6):1117-1124.
 - 8 Muso E, Kakita H, Suzuki H, Tsukamoto T. Updated evidence of beneficial effect of LDL apheresis for refractory nephrotic syndrome due to a variety of causative diseases for nationwide and global approval. *Ther Apher Dial*. 2023 Dec;27(6):987-999.
 - 9 Nishio H, Ishii Akira, Yamada H, Mori PK, Kato Y, Ohno S, Handa T, Sugioka S, Ishimura T, Ikushima A, Inoue Y, Minamino N, Mukoyama M, Yanagita M, Yokoi H. Sacubitril/valsartan ameliorates renal tubulointerstitial injury through increasing renal plasma flow in a mouse model of type 2 diabetes with aldosterone excess. *Nephrol Dial Transplant*. 2023 Oct 31;38(11):2517-2527.
 - 10 Ishimura T, Ishii A, Yamada H, Osaki K, Toda N, Mori PK, Ohno S, Kato Y, Handa T, Sugioka S, Ikushima A, Nishio H, Yanagita M, Yokoi H. Matrix metalloproteinase-10 deficiency has protective effects against peritoneal inflammation and fibrosis via transcription factor NF- κ B pathway inhibition. *Kidney Int*. 2023 Nov;104(5):929-942.
 - 11 Sugioka S, Yamada H, Ishii A, Kato Y, Yamada R, Mori PK, Ohno S, Handa T, Ikushima A, Ishimura T, Osaki K, Tokudome T, Matsusaka T, Nebreda RA, Yanagita M, Yokoi H. Dual deletion of guanylyl cyclase-A and p38 mitogen-activated protein kinase in podocytes with aldosterone administration causes glomerular intra-capillary thrombi. *Kidney Int*. 2023 Sep;104(3):508-525.
 - 12 Shiba H, Endo T, Fujikawa H, Tsukamoto T. Response: Rectus Sheath Hematoma Can Resemble Bladder Hematoma on Ultrasound. *JMA J*. 2024 Jan 15;7(1):142-143.
 - 13 Taniguchi M, Endo T, Asou M, Tsukamoto T. Nephrotic "full-house" glomerulonephritis successfully treated with antibiotics alone in secondary syphilis: a case report. *CEN Case Rep*. 2024 Apr;13(2):86-92.

- 1 4 Handa T, Fujii M, Ando M, Masuda M, Sokai Y, Tsuji Y, Fukuda Y, Ohue K, Higashi Y, Mori KP, Endo T, Tsukamoto T. Correlation between bradykinin concentration and blood pressure during Rheocarna therapy: A single-center case series. *Ther Apher Dial.* 2024 Jun;28(3):453-459
- 1 5 Watanabe T, Yonemoto S, Ikeda Y, Kawaguchi K, Tsukamoto T Copper deficiency anemia due to zinc supplementation in a chronic hemodialysis patient CEN Case Rep. 2024 Mar 23. Online ahead of print.